

平成22年7月9日

ガス炊飯器の点検・修理（部品交換）開始報告書

社団法人 日本ガス協会 御中

リンナイ株式会社
代表取締役社長 内藤 弘康

下記の製品について、点検・修理（部品交換）を行うこととしましたので、報告いたします。

記

1. 製品名・型式・製造期間・対象台数

製品名：電子ジャー付ガス炊飯器

ブランド	型式	製造期間	生産台数	ガス種
リンナイ	RR-05MRT シリーズ	2005年9月～ 2008年8月	27,909台	12A・13A LPG
	RR-05MRT(A) シリーズ	2008年8月～ 2009年9月	9,469台	
	RR-S10MRT	2009年4月～ 2009年8月	142台	
	RR-S10MKT	2009年4月～ 2009年8月	73台	
大阪ガス	111-R520 シリーズ	2005年8月～ 2008年9月	8,783台	12A・13A LPG
	111-R520A シリーズ	2008年9月～ 2009年9月	2,044台	
	111-5010A シリーズ	2005年8月～ 2009年8月	38,067台	
東京ガス	RN-410TA-MCK シリーズ	2008年9月～ 2009年9月	2,041台	12A・13A
東邦ガス	RAJ-5MTK シリーズ	2006年9月～ 2008年9月	1,781台	
合 計			90,309台	

2. 点検・修理（部品交換）に至る経緯

平成17年8月から平成21年9月までに生産した電子ジャー付ガス炊飯器の一部製品において、ガス接続口にアルカリ性洗剤が付着した状態で且つ長期間に亘り濡れた状態が続くとガス接続口の腐食が進行し、稀に亀裂が発生した場合に微量のガスが漏れ、製品の一部焼損に至る恐れのあることが判明したため、対象製品の点検及び部品交換（無料）を自主的に実施いたします。

本事象で製品の一部焼損事例が過去4件発生しておりますが、製品以外へ被害が拡大した事例はありません。今後同様の不具合の発生を防止するために今回の措置を講じることになりました。

事故内容について

発生日	平成21年1月31日	平成21年4月22日	平成22年6月初旬	平成22年7月7日
発生場所	兵庫県高砂市	茨城県土浦市	京都府京都市	大阪府羽曳野市
型式	RR-05MKT2 111-5010A (大阪ガス品番)	RR-05MRT	RR-05MRT 111-R520 (大阪ガス品番)	RR-10MKT2 111-5020A (大阪ガス品番)
製造年月・ガス種	06年6月・LP	07年10月・13A	07年10月・13A	不明・13A
発生状況	炊飯器使用中に、ガス接続部付近より漏洩したガスに引火し、器具本体を一部焼損した。ガス接続部はひどく腐食していた。			
被害状況	器具一部焼損 拡大被害なし			
事故の原因	ガス接続口がアルカリ洗剤の影響により腐食、さらに亀裂の発生に至り、ガスが漏洩、引火したもの推定する。			

事故原因について

アルミダイカスト製のガス接続口のプラグ抜け止め金具用の溝穴からアルカリ性洗剤が内部に浸入し、かつ溝穴がカバーで覆われていることと、長期間に亘り濡れた状態が続いたことにより腐食し、ガス接続口内部に生じた腐食生成物の体積膨張による応力がかかったために亀裂が入り、微量のガスが漏れ製品の一部焼損に至りました。

3. 対策内容

市場流通品の対応について

ガス接続部を対策部品に交換

実施期間：平成22年7月16日～

作業時間 約1時間

作業内容 ガス接続口を対策部品に交換し、ガス漏れ検査後、点検完了シールを貼付する

対策部品の改良内容について

- ・ガス接続口の形状を変更する
液体の浸入防止のためプラグの抜け止め金具用の穴の廃止

- ・ガス接続口の材質を変更する
耐食性向上…ガス接続口の形状変更、材質変更
アルミダイカスト→黄銅、ニッケルメッキ

- ・構造変更
水に浸ることがないようにガス接続口取付け位置変更（高さ5.5mmアップ）

4. 点検・部品交換及び作業内容

該当品をご使用のお客様を順次ご訪問し、点検ならびに部品交換作業を無償で行ってまいります。

- ①訪問期間 平成22年7月16日 から開始予定
- ②作業内容 対策部品への交換と、ガス漏れ・動作性・燃焼確認
- ③作業時間 約1時間

5. 公表方法について

お客様へのお知らせ

新聞発表 7月13日 朝刊紙上に告知広告を掲載予定
フリーダイヤルの設置、ホームページ上への掲載

6. 連絡先

お客様からのお問い合わせ窓口

- ① フリーダイヤル：0120-478-111
- ② 受付開始日：2010年7月14日（水） 9：00より
- ③ 受付時間：7月30日まで 9：00～21：00
7月31日以降は9：00～17：00（日・祝日を除く）

※ 7月13日までの緊急の場合はフリーダイヤル：0120-054-321

以上

資料

【対象製品の外観】

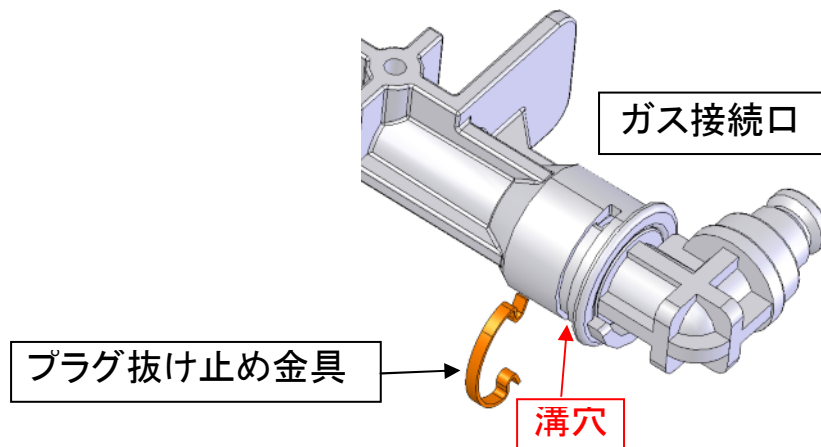


【ガス接続口部の外観】

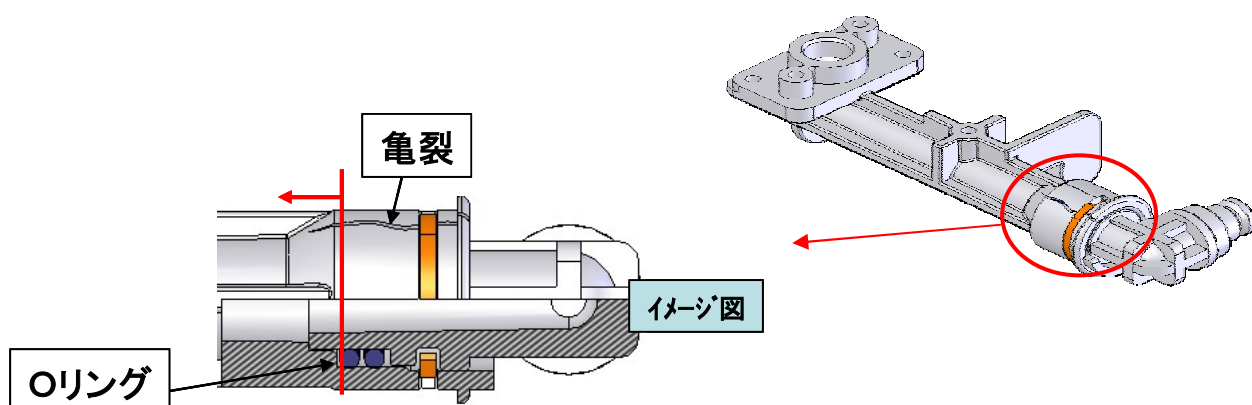


【発生メカニズム】

1. お手入れのアルカリ性洗剤が床面に溜まった水と混ざり、アルカリ性液体となる。
2. アルカリ性液体が溜まったところへ炊飯器を置くと、ガス接続口プラグ抜け止め金具の溝穴（下図）からアルカリ性液体が接続口内部へ浸入する。



3. 水が溜まりやすい場所に炊飯器が置かれるなどして、長期間に亘り濡れた状態が続くと、接続口内部から腐食が進行し、内部腐食生成物の体積膨張の応力により、接続口に亀裂が発生する。（下図）



4. 亀裂が進行し、Oリング部を超えると微量のガス漏れが発生する。

【対策内容について】

今回の現象は、床面に溜まった液体がガス接続口の溝穴から浸入することで発生しています。これらを防止するために以下の対策を行いました。

- ・ 溝穴を設けなければならない抜け止め金具を廃止し、シール性の高いネジで抜け止めを行う構成に変更しました。
- ・ ガス接続口の下面を 5.5mm 高くしました。
- ・ 材料をアルミダイカストから黄銅に変更し、更にニッケルメッキを施すことで耐食性を向上させました。